

参考文献

- 注1 N保育園：静岡県富士宮市、児童数一五〇創立 昭和二八年四月、面積 六・六〇〇平方メートル
- 注2 日本保育学会著「日本の幼児の精神発達」（保育学講座9） フレーベル館 昭和四年九月二十五日 P. 293
- 注3 山根薰・塩川寿平他「保育学概論」 同文書院 昭和四六年五月十日 P. 1
- 注4 Arnold Gesell 発達哲学の実証的基礎 III部作
- “The First Five Years of Life” 1940 “Infant and Child in the Culture of Today” 1943 “The Child from Five to Ten” 1946
- 注5 Jean Piaget 「知能の心理学」 波多野完治・滝沢武久訳 みすず書房 昭和四一年一月二五日
- 「数の発達心理学」 遠山哲・銀林浩・滝沢武久訳 国士社 昭和三七年一月五日
- 注6 注3同 P. 59
- 注7 注1同 旧園舎老朽全面改築のための討論 塩川寿平「都市化と幼児遊び場のあり方」 幼児の教育（七十卷第四号～八号） フレーベル館 昭和四六年四月一日～八月一日
- 注8 塩川寿平「高根学園保育園」 発達年齢別にセバレー式 トした園舎構造に特色ある。
- 注9 環境デザイン研究所 仙田満十アトリエ がある。
- MAN & SPACE
- 注10 N園新園舎落成式講演 昭和四七年九月一七日
- 注11 N園の自然を中心とした自由保育方式が、理論的に確立し始めた昭和三七年四月ころより、園長塩川豊子によりとなえられた名前
- 注12 仙田満「環築としてのN保育園」 建築文化 Vol. 27 No. 313 昭和四七年一月一日 p. 146
- 注13 注12同 p. 146
- 注14 Edward T. Hall “The Hidden Dimension” Doubleday & Company, Inc., New York, 1966
- 注15 proxemics；人間が空間をどのように使つかうかについての相互に関連する観察と理論
- 注16 塩川寿平他による臨床觀察 昭和四五年四月～昭和四六年四月 S園～4回 K園～4回 F園～5回実施
- 注17 ゆかり文化幼稚園 保育形態と遊びつけた園舎構造に特色がある。遊びの城・子どもの城と呼ばれる。
- 注18 東京都文京区大塚二ノ一ノ一 お茶の水女子大学附属幼稚園内
- 注19 東京都文京区大塚二ノ一ノ一 お茶の水女子大学附属幼稚園内
- 注20 編集兼発行者 津守真
- 注21 東京都文京区大塚二ノ一ノ一 お茶の水女子大学附属幼稚園内
- 注22 東京都文京区大塚二ノ一ノ一 お茶の水女子大学附属幼稚園内
- 注23 印刷所 図書印刷株式会社 発行所 日本幼稚園協会
- 注24 東京都港区三田五ノ一ノ一 108 東京都港区三田五ノ一ノ一
- 注25 印刷所 振替口座東京一九六四〇番
- ◎本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします

一級建築士（東工大卒） 東京都渋谷区青山  
一級建築士（東工大卒） 東京都渋谷区青山  
幼児の教育 第七十三巻 第十号

十月号 ◎ 定価一七〇円

注10 N園新園舎落成式講演 昭和四七年九月一七日

注11 N園の自然を中心とした自由保育方式

が、理論的に確立し始めた昭和三七年四月ころより、園長塩川豊子によりとなえられた名前

注12 仙田満「環築としてのN保育園」 建築文化 Vol. 27 No. 313 昭和四七年一月一日

注13 仙田満「環築としてのN保育園」 建築文化 Vol. 27 No. 313 昭和四七年一月一日

注14 Edward T. Hall “The Hidden Dimension” Doubleday & Company, Inc., New York, 1966

注15 proxemics；人間が空間をどのように使つかうかについての相互に関連する観察と理論

注16 塩川寿平他による臨床觀察 昭和四五年四月～昭和四六年四月 S園～4回 K園～4回 F園～5回実施

注17 ゆかり文化幼稚園 保育形態と遊びつけた園舎構造に特色がある。遊びの城・子ども

の城と呼ばれる。

注18 高根学園保育園 発達年齢別にセバレー式 トした園舎構造に特色ある。

注19 慶松幼稚園 園舎のカラー、遊具に特色